



図 1 カラー印刷物の劣化促進試験結果

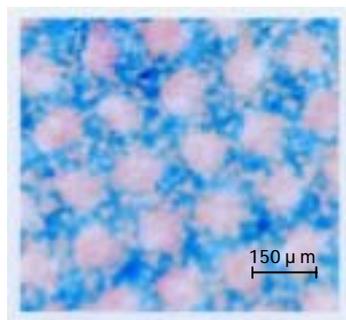


図 2 ギ酸暴露部拡大写真

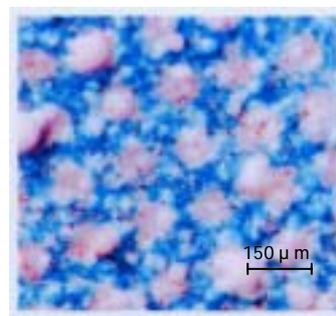


図 3 酢酸暴露部拡大写真



写真1 土に樹脂をかけた試料の例

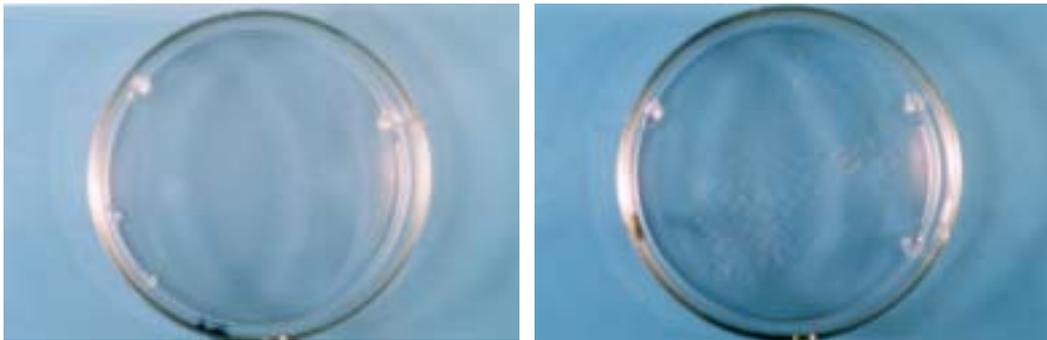


写真2 パラロイドB72(酢酸エチル溶媒)樹脂単体の試験結果の例  
 左:室温に4週間保存(対照) 右:グループAのカビの混合孢子懸濁液を噴霧後,29℃,100%RHで4週間保存

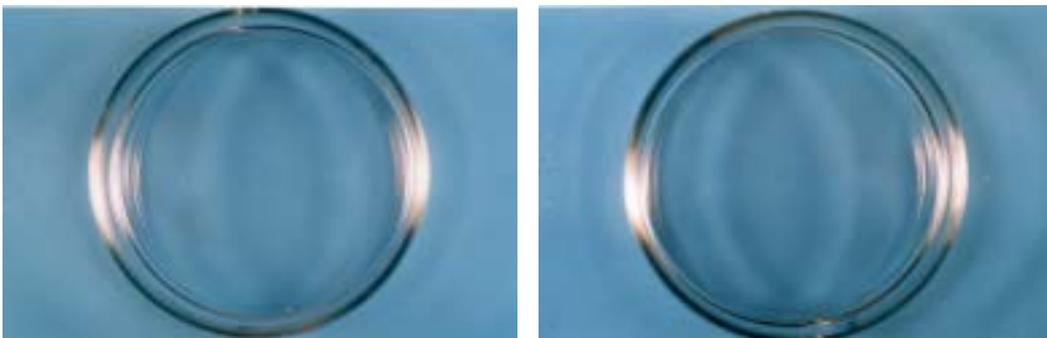


写真3 ER-002樹脂単体の試験結果の例  
 左:室温に4週間保存(対照) 右:グループAのカビの混合孢子懸濁液を噴霧後,29℃,100%RHで4週間保存

遺跡等で使用する樹脂のカビへの抵抗性について

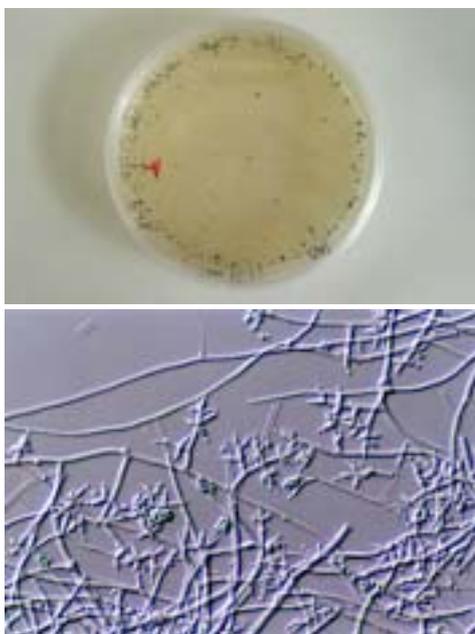


写真1 2004年3月に石室内で発生した  
*Trichoderma* sp. (TBK-1)  
上 培養したプレート (MA)  
下 微分干渉顕微鏡写真 (490倍)



写真2 2004年3月に石室内で発生した  
*Trichoderma* sp. (TBK-3)  
上 培養したプレート (MA)  
下 微分干渉顕微鏡写真 (490倍)



写真3 2004年3月に石室内で発生した  
*Penicillium* sp. (TBK-2)  
上 培養したプレート (MA)  
下 微分干渉顕微鏡写真 (490倍)



写真4 2004年5月に石室外の天井石側面で  
検出された *Acremonium* sp.  
上 培養したプレート (PDA)  
下 微分干渉顕微鏡写真 (980倍)

キトラ古墳の前室および石室における菌類調査報告



写真5 2004年8月に東壁の青龍を取り外した跡に見られたカビ  
(写真提供 川野邊渉)

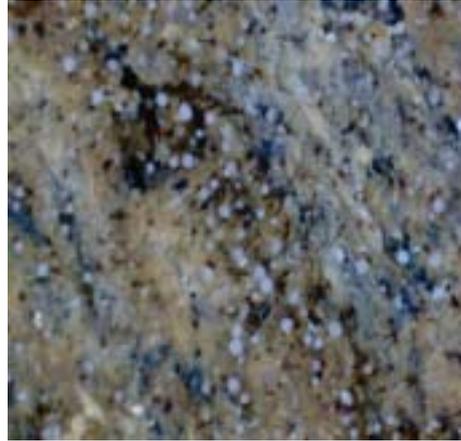


写真6 2004年8月に石室外の天井石側面で発生したカビ  
上 現地での拡大画像 (50倍)  
中 明視野顕微鏡写真 (100倍)  
下 明視野顕微鏡写真 (400倍)  
バーの長さは0.1mm